

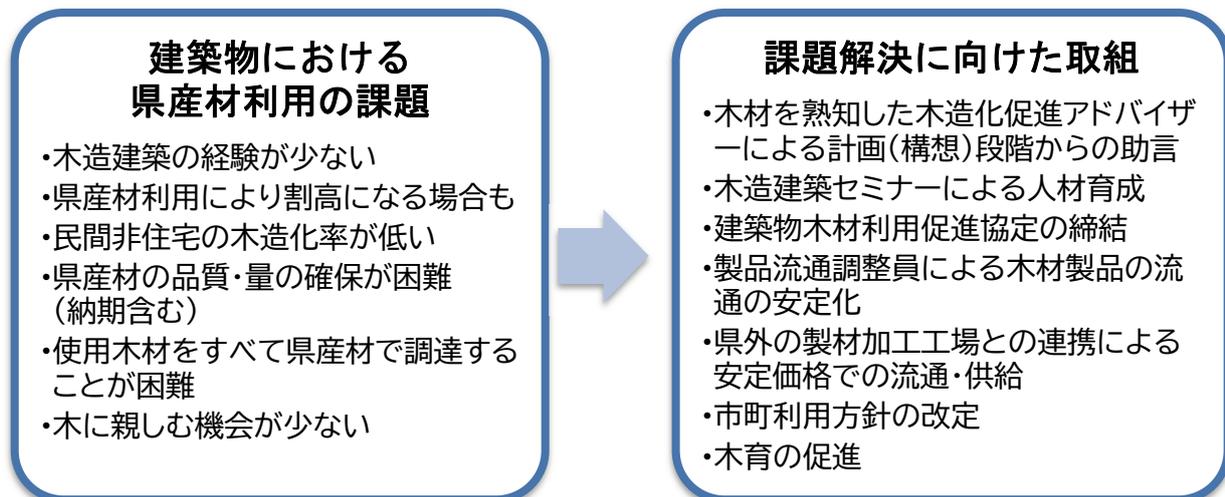
## 建築物における滋賀県産木材の利用推進の取組状況について

令和 3 年に「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が改正され、「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」(通称:都市(まち)の木造化推進法)として施行され、令和 4 年 5 月に法に基づく県の利用方針を改定し取組を進めてきた。

令和 5 年 3 月には「滋賀県県産材の利用の促進に関する条例」を制定し、林業および木材産業の持続的な発展や、木材の利用に対する意識の高揚を図ることに対する機運がますます高まっている。建築物における滋賀県産木材の利用に関する現在の取組状況について報告する。

### 1 県産材利用における課題と取組

県産材利用については、公共建築物や住宅以外の民間建築物の木造化や木質化が進んでいない状況であることから、公共建築物に加えて民間非住宅の木造・木質化への取組を強化している。



### 2 市町利用方針の改定状況

県内 19 市町のうち、2 月末現在で 18 市町が改定済み。残る高島市も年度内に改定予定。

### 3 県の整備する公共施設における木材利用

庁内に公共施設木材利用促進会議を設置し、取組を推進。近年は新たに整備(新築・増築・改築または模様替え)する建築物のうち、多くの施設に、木造・内装等木質化により木材が利用されている。

#### (1) 琵琶湖森林づくり基本計画(第 2 期)における指標

県の整備する公共施設のびわ湖材による内装等木質化率 R12 目標 100%(R3 時点 80%)

実績 R4 100%、R5 93%、R6 93%

令和 6 年度の実績として、県民一般の利用に供されない倉庫等を除いた木質化の対象となる 14 件のうち 13 件について、内装木質化を実施。

(2) 令和6年度の公共建築物整備実績

新築 19件 (木造13件、その他構造6件(交番の物置と自転車置き場))

増築 0件

改修 3件



能登川高校ホッケー練習場 新築・木造 木質化



彦根総合スポーツ公園トイレ 新築・木造 木質化



甲西駅前交番 新築・木造 木質化



ボートレース場 木育ルーム 改修・木質化

4 市町の整備する公共施設における木材利用

木材利用は進みつつあるが、更なる取組が必要。

令和6年度 実績例



甲賀市 みなくるプラザ 新築・木造 内装木質化



甲賀市 水口保健センター 新築・内装木質化



栗東市 治田小学校 新築・内装木質化



彦根市 金亀公園管理棟 新築・木造 内装木質化

## 5 今後の木材利用の拡大に向けた取組状況 —公共建築物から民間非住宅への展開—

### (1) 木造建築セミナーの実施（令和3年度～）

中大規模木造建築の設計知識と県産材の特性や流通状況を熟知した建築士等の育成。

【修了者（R3～5）】一級建築士 37名、木材供給者 29名

【令和6年度】スキルアップ研修 計3回

【令和7年度】スキルアップ研修 計4回

### セミナー修了者が関わった建築実績例



龍谷大学 Green Deck 新築・木造



河西いちご園 販売店舗 新築・木造

### (2) 木造化促進アドバイザーによる助言等（令和3年度～）

建築物の構想・計画段階、設計段階の発注者や設計者に対して、専門の木造化促進アドバイザーが、県産材等の利用のための発注方法、木材調達、木造設計のコツ、補助制度などアドバイスを実施。県産材利用の拡大や合理的な設計（コスト、メンテナンス、木材調達、施工性等）、発注担当者および設計者の木材利用に関する理解醸成、担当者の不安解消等の成果がある。建築課や市町、社会福祉法人などに対して、毎年10回程度行っている。

### (3) びわ湖材建築事例集

令和7年3月に県内の木材を使用した非住宅建築物の事例集を作成。様々な規模、用途の木造、木質化された建築物を紹介し、助言やセミナーの際に配付するなど普及啓発に活用。



### (4) 建築物木材利用促進協定

都市（まち）の木造化推進法に基づく協定で、建築物にびわ湖材等を積極的に活用。木材の良さを広くPRするとともに、2050年カーボンニュートラルの実現およびSDGs、生物多様性の保全やマザーレイクゴールズ（MLGs）の達成に貢献。

株式会社たねや：令和5年11月

東レ建設株式会社：令和6年9月

○ 株式会社シガウッド：令和7年1月31日

○ 滋賀県建築関係5団体：令和7年3月18日

今後、民間での木材利用の取組拡大に期待。



「LAGO大津」(R7.3)

協定成果(たねや)

(写真提供：たねや)



## 6 木育拠点施設の整備

県立近江富士花緑公園にある既存施設「森林のわくわく学習館」等を改修し、木育施設「しがモック」として令和7年8月24日に一般オープン。内装やおもちゃに県産材をふんだんに使用。

1月末時点 累計 来館者 25,858人(大人+子ども)

本年度末には、林業普及センターの1階と木工室であるウッディルームの改修工事を完了させ、木育拠点施設としてグランドオープンを予定。

今後、周辺の森林を使った取組や様々な主体と連携し、県内に木育の取組を広げていく。



しがモック内部



オープニングセレモニー

